

成績概要書（2003 年 1 月作成）

課題分類：

研究課題：平成 14 年度の発生にかんがみ注意すべき病虫害（植物防疫事業）

担当部署：北海道病虫害防除所、中央農試クリーン農業部病虫害科、総合防除科

上川農試研究部病虫害科、道南農試研究部病虫害科、十勝農試生産研究部病虫害科

北見農試生産研究部病虫害科、花・野菜技術センター研究部病虫害科、農業改良課

担当者氏名：

協力分担：全道 56 地区農業改良普及センター

予算区分：補助（農林水産省）道費

研究期間：2002 年度（平成 14 年度）

1．目的

本年実施した調査および試験研究結果から、特に留意を要する病虫害について注意を喚起する。

2．方法

- 1）農作物有害動植物発生予察事業
- 2）突発および新発病虫害診断試験および調査
- 3）各種の試験および調査

3．成果の概要

1）平成 14 年にやや多～多発した病虫害

- (1)大豆：べと病
- (2)ばれいしょ：粉状そうか病
- (3)りんご：腐らん病、ネズミ類
- (4)たまねぎ：白斑葉枯病、軟腐病、乾腐病、タマネギバエ、ネギアザミウマ
- (5)ねぎ：さび病、ネギアザミウマ
- (6)だいこん：軟腐病、キスジトビハムシ
- (7)はくさい：黒斑病
- (8)キャベツ：根こぶ病

2）平成 15 年度に特に注意を要する病虫害

- (1)小麦の赤かび病
- (2)小麦うどんこ病のストロビルリン系薬剤耐性菌の出現
- (3)オキシリニック酸水和剤に対する各作物の軟腐病菌の感受性低下
- (4)春期高温年における各種害虫の早・多発

3) 新たに発生を認めた病害虫

- (1) 水稻のアカスジカスミカメ (新発生) *Stenotus rubrovittatus* (Matsumura)
- (2) 小豆のピシウム苗立枯病(新称、病原の追加) *Pythium spinosum* Sawada,
P. myriotylum Drechsler, *P. mamillatum* Maurs
- (3) ほうれんそうのべと病 (新レース) *Peronospora effusa* (Greville) Cesati
- (4) ねぎ、にらのネギアブラムシ (新発生) *Neotoxoptera formosana* (Takahashi)
- (5) 菜豆のケブカチチュウワタムシ (新発生) *Smynthuodes betae* Westwood
- (6) ふきのキベリトゲハムシ(新寄主) *Dactylispa masonii* Gestro
- (7) はばたんの黒腐病 (新発生) *Xanthomonas campestris* (Pammel) Dowson
- (8) ひまわりのクロゲハナアザミウマ (新寄主) *Thrips nigropilosus* (Uzel)
- (9) しいたけのイタヤムラサキトビムシ (新寄主) *Hypogastrura(H.) itaya* Kinoshita

4. 成果の活用面と留意点

ここに記載した病害虫について、特に今後の発生動向に注意する。

5. 残された問題とその対応

- 1) 各種病害虫の要防除水準の設定
- 2) 簡易な調査方法とモニタリング手法の改善
- 3) 発生変動要因の解明と発生予察法の改善
- 4) 病害虫発生情報の収集および伝達の迅速化